

# 公益社団法人 上伊那教育会 第2回 総会

期日：令和8年6月16日（火） 会場：上伊那教育会館講堂

- 1 開会
- 2 上伊那教育会の歌『仰望』
- 3 会長挨拶
- 4 信濃教育会常任委員会報告
- 5 議事
  - (1) 第1号議案「令和7年度上伊那教育会事業報告の承認」に関する件
  - (2) 第2号議案「令和7年度上伊那教育会決算報告の承認」に関する件
- 6 諸連絡
- 7 協議  
上伊那教育会諸事業についての意見交換
- 8 閉会の言葉



## 佐々木 英明 会長 挨拶



代議員の先生方、ご参集ありがとうございます。今年は平年並みの梅雨入りとなりました。この一週間梅雨らしいすっきりしない天気が続いています。しばらくうっとうしい天気が続きますが、体調には気をつけてお過ごしください。今日は、2点お話しさせていただきます。

はじめに、5月20日の上伊那教育会総研修会『仰望の日』では、多くの先生方にご参集いただき、無事実施することができました。代議員の皆様には係として運営を支えていただきました。誠にありがとうございました。

上伊那教育会の歌「仰望」の全員合唱や教育会合唱団の美しい歌声。郷土研究部動物班の小池尚美先生の「上伊那におけるバツタ科の生息状況について」の会員発表や、舞の海秀平さんの講演など、いかがだったでしょうか。代議員の先生方には、各校で反省の取りまとめもお願いしましたが、いただいたご意見をもとに検討し、次に活かして参りたいと思います。よろしく申し上げます。

次に、6月11日、12日に実施した、「県外視察研修」についてです。本年度は、一泊二日で、石川県加賀市が「BE THE PLAYER」を合い言葉に、自立した学び手を育てる、誰一人取り残さない等のプロジェクトに取り組む実践を二つの小中学校の参観と懇談、教育委員会の説明と懇談を通して、21名の先生方で研修をしてきました。

加賀市では、「BE THE PLAYER」の合い言葉のもとで、各学校が独自に授業作りを中心にした学校作りを進めているとのことでした。山中中学校では自律した学習者を育てようと、単元を通した自由進度学習や毎時間の授業に子どもたちが選択して学習を進める場面を積極的に取り入れようとしているとのことでした。分校小学校は単級の学校ですが、年に3回の予定で、全校で同じ時間に自由進度学習を進める単元を設定しているとのことでした。子どもたちが自分の選んだ学び場に急いで向かい、一人で、友だちと話し合いながらいい表情で学ぶ姿が印象的でした。先生方は、それぞれで自分の学級の子どもを指導しながら、全校の子どもに関わって、その様子はスプレッドシートで共有しているとのことでした。私も単級の学校に5年間いましたが、全校でやるという発想はなく、参考になりました。たくさんの刺激をいただいた研修になりましたが、9月に仰望カフェ②として報告座談会を開催します。研修参加者からの報告を是非たくさんの皆さんに聞いていただき、実践の参考にしていただけたらと思います。

今日は、議事として令和7年度の教育会の事業と決算について報告と承認をいただく予定です。また、1学期末から夏休み、2学期初めにかけての研修等の連絡もあります。そして、上伊那教育会がこれからも会員と共に持続できる教育会であるため、今年度のテーマ「つなぐ つながる 私たちの学び ～子どものために 仲間と歩む～」に関わって、代議員の皆様からご意見をいただく時間も予定しています。活発な討議をお願いいたします。

本日の総会、よろしくお願いいたします。



## 議 事

### (1) 第1号議案「令和7年度上伊那教育会事業報告の承認」に関する件

清水ひろみ副会長が提案、質問・意見を受け、採決を行い、賛成多数で承認されました。

### (2) 第2号議案「令和7年度上伊那教育会決算報告の承認」に関する件

浦山哲雄事務局長が提案、中山貴史監事の監査報告後に、質問・意見を受け、採決を行い、賛成多数で承認されました。

## 諸事業についての意見交換

本年度の上伊那教育会のテーマ「つなぐ つながる 私たちの学び～子どもたちのために仲間と歩む～」の実現に向けて、会員同士が集い、実践や悩み等を語り合い互いに高め合えるような教育会にしていきたいという佐々木会長の思いから、

「会員のつながりが生まれ、仲間と学びあえた具体的な上伊那教育会諸事業の経験について」「代議員として職場の会員に勧めたいと思う上伊那教育会諸事業について」「上伊那教育会諸事業への参加をどのように勧めていけばよいのか」等について、自身の考えや職場の声を申し合っていました。



### 【鈴木 雅美 会員（飯島中）】

昨年度、県外視察や仰望カフェに参加させていただきました。これらの活動を通じて、私が最も価値を感じたのは学校の垣根を超えた人とのつながりでした。特に仰望カフェではリラックスした雰囲気だからこそ、日頃の悩みや未来のアイデアを本音で語り合うことができました。若手からベテランまでフラットにつながり、共に悩みを分かち合える仲間が上伊那にこんなにいるんだと大変心強く思えました。こんな大切な時間を作ってくれる講習会、研究会というものを多くの先生方に知っていただきたいと思っています。



### 【大槻 潤 会員（辰野西小）】

社会の教科等教育研究会の事務局を務めています。今年の上伊那教育研究会Ⅲでは、社研での授業と、委員会で午後の研修についてどのようなものを作っていくか話をしています。委員会にも若い先生方に入っただき、新しい試み等、どうしようかと悩んでいるところです。一緒に授業を作っていく中で、とても励みになる面もあるので、こんな活動も仲間と学びあえる機会と考えてやっていきたいと思っています。

### 【有岡 麻美 会員（七久保小）】

職場の中で、気軽に「上伊那教育会でこんな事業をしてるんだ」ということを話題に出すことで、「ちょっと参加してみようかな」ということもありました。時間がないという先生方もいるかもしれませんが、話題にしていくことで繋がっていきけるのではないかと感じています。



### 【佐々木 浩 会員（手良小）】

文学研修の委員長という立場で、今年度40名弱の先生方と一緒に文学を読み進める大切な研修の場として、参加をさせていただいています。その中で、あんな風に会報をまとめられたらいいな、あんな風に司会できたらいいな、あの豊かな感性で読み取れたらいいなということを感じさせられ、先生とのつながりが本当にありがたく、嬉しい時間だなと感じています。学校でも「こんなことをやっています」「こんなことが楽しいです」など、そういう前向きなところで、先生方にやっている事業の内容とか、誘いかけができるような取り組みを行い、自分自身も研修に臨めるようにしたいと思います。



### 【佐々木英明会長のまとめ（抜粋）】

三大研修というと、硬いイメージがあるかもしれませんが、本当に力をつけるための研修です。文学研修も10年以上前に出た方と今の文学研修でやっていることはだいぶ雰囲気違います。軽い気持ちの中で、リラックスしてできる研修だと思いますし、哲学についてもそういう雰囲気の中でやれていると思います。ぜひここにいる先生方も参加していただいたり、ぜひ足を運んでいただいたりして、その良さをお伝えいただけたらなという風に思いました。



自分一人ではなかなか参加できない研修も、誰かがその背中をちょっと押してあげることで、それが研修につながることもあります。いろいろなところまで教育会でもコーディネートできることがあるかと思います。また今後に活かしてまいります。どうもありがとうございました。

### 清水 ひろみ 副会長より

本日はご多用の中、第2回総会にご出席いただき、誠にありがとうございました。



ただいまの協議では、代議員の先生方ご自身の経験から、仲間と共に学び合った研修や、会員に勧めたいと思う事業について話し合っていました。発表のなかではそれぞれの研修のよさ、そしておそらく課題も共有されと思います。代議員の先生方ご自身の経験を、ぜひ、自校の先生方に伝えていただき、先生方を研修の場へと背中を押していただきたいと思います。それが、今年度の上伊那教育会のテーマにある「つなぐ」であり、参加された会員同士が研修を通して「つながる」ことになるとと思います。

さて、教育会の各種委員会は、それぞれの活動が順調にスタートしています。また、これから、様々な研修の案内が配信されますが、どの研修も、多くの先生方と共に学びを深めることができたらいいなと思います。どうぞよろしく願いいたします。

小学校では、運動会が終わり、水泳の授業がそろそろ始まります。中学校では中体連があり、大変忙しい時期です。代議員の先生方には、お身体を十分お気をつけていただければと思います。

以上をもちまして、令和8年度、公益社団法人「上伊那教育会」第2回総会を閉じます。ありがとうございました。